

**ヤフオク！ドームを探検する！！**

6月22日（日）、ひまわり棟のバスハイクがあり、保護者の方々と一緒に今年はヤフオクドームと九州国立博物館に行きました。テレビでは見ていましたヤフオクドームも実際に見るととても大きく、バック側）を見学し、グランでき、子どもたちはまた、九州国立博物や皿などがあり、「と珠もあって、欲しくなりました・・・」など、子どもたちの意外な感想も聞かれました。

実際に見ると  
ヤード（球場の裏  
ドにも入ることが  
興味津々でした。  
館では、昔の着物  
でもカッコイイ念



子どもたちの感想です。



実際に見ると  
ヤード（球場の裏  
ドにも入ることが  
興味津々でした。  
館では、昔の着物  
てもカッコイイ念

マフオフドームでは音便を入りが出来ない場所  
全てに入らせていただいたまことにありがとうございました。  
また、今日はこの日もとても雰囲気のいい会場  
又丸博では漱石先生とては余裕がで  
ちたかったです。またお会い



マフオードムで10音段入りパオナリの場所  
などに入らせてくれてありがとうこうこうでした。  
音たらし同じ。この日はとても趣(おもい)でいいでした。  
又久田博さんは、済(さい)度(ど)悪(あく)くない。会議(かいぎ)  
もカッコよく入(い)れて(いた)です。

最後に全員で記念撮影をし、思い出を作りました。(菊竹) (4Pへ続く)

今後の予定と お願い	9／21 たんぽぽ棟バスハイク【野菜農園 小野田市】
	10／18 小池まつり
	11／9 親子レクリエーション【いもほり】
	12／10 年末お楽しみ会

北九州市福祉事業団基本理念

北九州市福祉事業団は、  
人と知識と技術を結集して、  
一人ひとりの幸せを大切にする  
社会づくりに貢献します。

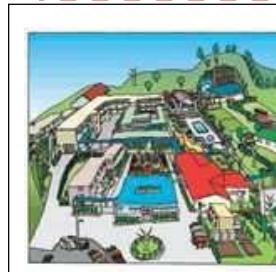
基本方針

- 1 利用者一人ひとりの人権を尊重した支援を行います。
  - 2 利用者が地域の一員として社会参加できるよう支援していきます。
  - 3 地域に開かれた施設をめざし、地域支援・地域交流の促進に努めます。
  - 4 安全で快適な生活環境の整備を図ります。
  - 5 職員は研鑽を積み、資質向上に努めます。

# 小池だより

2014.9.12

第262号



発行 小池学園  
〒808-0132  
北九州市若松区  
大字小敷 583-1  
TEL 093-601-2261  
FAX 093-601-0353  
ホームページ  
<http://1.bbiq.jp/>  
kojkegakuen/

「わんぱくるーむ」(日中一時支援) を始めました。

「わんぱくるーむ」は、ひまわり学園（児童発達支援センター）などをご利用されている就学前のお子さまを対象に、通園終了後に小池学園近隣の通園バス乗降場所までお迎えに行き、夕方まで小池学園でお預かりするサービスです。お仕事やご兄弟の用事、通院などでひまわり学園などの降園時間に間に合わないとき、時間を気にせずに用事を済ませていただけるよう、今年度の4月からサービスを開始いたしました。ひまわり学園の職員の方とも連携し、お子さまの特性や情報をしっかりと把握してお預かりできるため、スムーズに降園後を過ごすことができているようです。今はまだ小池学園の近隣を通園バスが運行している若松ひまわり学園に限定されたサービスですが、今後は徐々に対象を広げていければと考えています。（岩井）



「おかえりなさい。お迎えにきたよ～。」

小池学園再整備について、保護者との意見交換を行いました。

今年度に入り、北九州市より小池学園再整備基本計画(建替え)が発表され、いよいよ小池学園の建替えの青写真が現実のものとなってスタートしました。現在も、基本計画に基づき、実際に子どもたちが生活する建物の設計図の微調整等を進めています。保護者の方々にとっても、お子さまがどんな建物で生活するのか関心事であり、8月24日（日）、保護者の方々にお集まりいただき、今までの経過と現在進んでいる状況についての説明を行いました。残念ながら参加された保護者の方々は少なかったのですが、ご質問やご意見を伺い、今後の参考にさせていただきます。ありがとうございました。

建替え状況については、これからも機会あるごとに逐次お知らせしてまいりますので、遠慮なくご意見等をお聞かせください。

(1pより続き) 子どもたちの感想です。

普段一筋の人が入れない戸籍を入れたので良かったです。選手権を使っているフルヘンやロッカールームも見えたので2月も7ロードに行った気分になりました。

やうきゅうドームがいたです  
ナレシゅうこうはくがいたです  
うじんかうたでんじでんせんかうでんせんか  
ひるごはんかおもいいたです

編集後記

「写真の掲載はご本人、もしくは保護者の了解を得ています。」

真夏日、熱帯夜、猛暑、過去に経験したことのない大雨・・など、新しい言葉が飛び交うほど、異常な天候が続いています。

映画「The Day After Tomorrow」が現実的に思えてきます。そんな中でも、子どもたちは元気にセミ取りをしたり、公園で遊んだりと、元気いっぱいに過ごしています。それを見ていると、少し元気になる大人たち・・・。

## シリーズ 学園の生活

## 夏休みの生活

### 本格的に調理

日頃から中学生・高校生の女児数名で「自立」に向け調理活動を行っていますが、下校時間のまちまちで、調理の時間が十分には取れません。夏休みは時間制限もないのに、どんなメニューにするか一つずつ話し合いました。全て最初から一人で調理するので、味噌汁で味噌を溶くことが初めてだったり、切る野菜の大きさを考えたりと、初め



ての作業の子どももいて、悪戦苦闘しながらも楽しく調理ができました。出来上がりには全員が満足し、「おいしい！また作りたい！」との声が聴けました。後片付けも全て自分達で行い、8月は4回実施しました。長期の休みを活用した調理実習は、子どもたちには楽しく、私たちには日頃はできない内容を細かくゆっくりと教えることができるので、冬休みも続けていきたいと思います。（吉本）



「出来上がり」

### 療育支援 「アクト」デイキャンプ

今年は、台風の影響で延期になったり、天候不順でハラハラしましたが、8月16日・23日は青空ものぞいて、アクトのデイキャンプの始まりです。いつもは顔を合わせることのないグループとの合同でしたから、合言葉は「みんなで気持ちや力を合わせて行動しよう！」でした。お父さん参加のレクリエーションで盛り上がり、プール遊びではプール遊びでは学生ボランティアさんが大活躍!!泳ぎ方を教えてもらったり、水を掛け合ったり・・。プールの間にお母さんたちとお父さんたちは頑張っていました。ソーメン流しは人気で、麺だけでなく一緒に流れてくるトマトやぶどうに悪戦苦闘でした。家族や思い出になったかな!? ボランティアのみなさん、ありがとうございました。



躍!!泳ぎ方を教えてもらったり、水を掛け合父さんたちでバーベキューの準備。暑い中、流しは人気で、麺だけでなく一緒に流れてくるトマトやぶどうに悪戦苦闘でした。家族や思い出になったかな!? ボランティアのみなさん、ありがとうございました。

### ラジオ体操第1

「夏休みの目標は何ですか？」と聞かれて、「健康に過ごすことです。」と答えるA君。彼は普段から園内のジョギングをしており、毎朝6時には起きてきます。夏休みになんでも変わらない、彼の習慣です。中性脂肪が基準値を超えて、健康診断で「要運動」とされた私から見ると、彼はすでに十分健康なのですが、将来の就職を見据えた彼にとっては、まだ不十分である様です。

夏休みに入り、健康と規則正しい生活習慣を維持する為、ひまわり棟では

朝のラジオ体操が日課となりました。A君も毎回参加し、スタンプカードに判子をもらっています。

「スタンプをたくさん貯めると、豪華賞品があるんです。」とA君。健康に豪華賞品がついてくるラジオ体操、良いことばかりです。（井上）



ラジオ体操の出欠表も作りました。



「腕をしっかり伸ばして！」



### ひと夏の思い出！？

#### 暑い中でのバーベキュー

8月5日（火）、天気は生憎の雨。昼食にバーベキューをと準備を始めた矢先に本降りに。今年の夏は台風と記録的豪雨で、雨男とか雨女と言つてゐる次元ではありません。それでも、びしょ濡れになりながら準備を開始し、手伝ってくれた子どもたちに感謝感謝です。

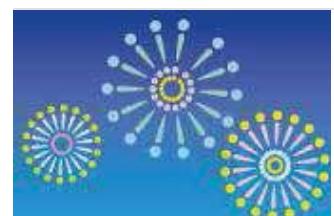
コンロの設置場所は食堂横の通路。屋根もあり、何とか焼くことが出来ました。食堂の中では、たんぽぽ棟のお姉さんたちが一生懸命おにぎり作りです。大きくなったり小さくなったり、上手く三角にならなかつたりと悪戦苦闘しながらたくさん作ってくれました。外ではドンドン肉が焼けていきます。牛、豚、ウインナー、そしてししゃもまで。どれもとても美味しい。我慢できずに、ちょっとつまみ食い。（検食です！笑）その横では、K先生が達人並みに焼きそば作り。これまた美味しいです。焼いても焼いてもお代わりお代わりと、お腹一杯になるまでみんな美味しいように食べてくれました。食後のデザートにはスイカとお菓子を用意していましたが、食べ過ぎを心配して予定を変更、おやつの時に食べました。満腹満腹！！（菊竹）



「炭火で焼いた焼肉はうまい！」



子どもたちも手伝ってくれました。



### 花火大会

8月最後の土曜日30日、夏休み最後の思い出作りをということで、園内で花火大会をしました。夕食後の陽も落ちたうす暗い時刻、敷地内にある広場に集まり、約100個の花火を打ち上げてみんなで楽しみました。市内の花火大会のように「数000発の花火・・・」とか、「〇〇尺玉の大花火・・・」というわけにはいきませんが、連続して打ち上げる連發花火や綺麗な花を咲かせる噴き出し花火に、子どもたちの歓声が挙がりました。事故のないように気をつけながら、子どもたちも手持ち花火を持って、夏の夜の風情を味わっていました。ちょっと蚊に刺されて痒かったけれど、綺麗な花火がたくさん見れてとても楽しそうでした。



「わあー、きれい！」



「ちょっとこわいけど・・・」



「どこまでとんでくのかな？」

